

議会報告会会議録

1 開会日	平成28年11月13日(日) 午前10時00分 開会 午前11時30分 閉会
2 場 所	国府支所 2階 第1・2会議室
3 出席議員	吉川重雄議長 (開会あいさつ) 坂田よう子副議長 (閉会あいさつ) 渡辺順子議員 (司会進行) 鈴木京子議員 (平成27年度決算のおもな審査内容について) 柴崎 茂議員 (") 三澤龍夫議員 (観光振興対策事業) 片野哲生議員 (") 全議員 (少人数に分かれての意見交換) 竹内恵美子議員 (記 録) 奥津勝子議員 (") 竹内恵美子議員 (会場受付) 奥津勝子議員 (") 玉虫志保実議員 (マイク設置等) 清田文雄議員 (写真撮影) 二宮加寿子議員 (パワーポイント操作)
4 参加者	15人
5 報告事項	(1) 平成27年度決算のおもな審査内容について (2) 少人数に分かれての意見交換

議長あいさつ、議員自己紹介の後、報告担当議員から決算審査についてパワーポイントを使い報告。その後、少人数に分かれての意見交換を実施した。

(1) あいさつ・・・吉川議長

平成 21 年 11 月 1 日に施行した「大磯町議会基本条例」の規程に基づき行っている議会報告会も 12 回目を迎えた。今回は平成 27 年度決算の審査における議論の経過・結果を報告する。

その後、少人数に分かれて意見交換を行う。日ごろ皆様が感じている身近な話題を一緒に話し合えればと考えているが、誹謗中傷、個人的な話はお受けできない。内容によっては町の答弁が必要なものも出てくるが、この場で町に代わって答弁するものではない点を御了解いただきたい。町に対する御意見は、後日、町にお伝えする。皆様からいただいた御意見、御要望は今後の政策提言に繋げていきたい。

(2) 平成 27 年度決算のおもな審査内容報告

・・・鈴木京子議員、柴崎 茂議員、三澤龍夫議員、片野哲生議員

『議会だよりおおいそ』第 184 号及び議会報告会資料に基づき、平成 27 年度決算に対する決算特別委員会及び本会議における主な審議内容等を報告。昨年に試行実施した事務事業評価を今年も実施。観光振興対策事業についての評価結果を報告。

◎主な質疑

問： 大磯運動公園の管理状況について、議会ももっと状況把握すべきではないか。

答： 一般質問や常任委員会の中で、議員それぞれが状況確認など質問を行っているところである。しかし、管理状況が今のままでいいのか、もう少し強く町に求めていく必要もあるのではないかと考えている。

問： 観光振興対策事業に対する評価結果が「抜本的な見直しのうえ継続」となっているが、何が抜本的な見直しなのか、これだけでは全然わからない。理由・意見を見る限り、なぜこのような評価結果になったのかがまったく理解できない。

答： 今回の事務事業評価では議会全体の評価というものを出さなかったため、議員それぞれの意見しか議会だよりに掲載できなかった。反省するところであり、次回はわかりやすく説明できるよう改善していきたい。

(3) 少人数に分かれての意見交換

少人数に分かれての意見交換を実施。参加者、議員それぞれが 4 グループに分

かれ、意見交換のテーマは決めず、身近な話題について話し合いを行った。

◎主な意見

グループ 1

(町民 3 名・議員 3 名 (竹内恵美子議員・清田文雄議員・玉虫志保実議員))

- ・ 道路工事について、町の管理は杜撰だと思う。全面舗装の道路工事を行う場合、既にアスファルトが崩れ轍になっているところは地盤が軟弱だ。問題のあるところは丁寧に調査し工事を行うほうが無駄がないし、長持ちすると考えるが。
- ・ 議会が評価した観光振興対策事業については、町がいくらお金を出したというのではなく、例えば 100 万円出した事業に対し何人の人が集まったかなど数字で表し、費用対効果を具体的に示してほしい。
- ・ 横溝千鶴子記念障害福祉センターの問題について、町民への情報が不足していると感じる。おおいそ福祉会を追い出すことは、障がい者が無料で使える施設をつくってほしいという横溝さんの主旨にはずれるのではないか。
- ・ 観光振興対策事業が「抜本的な見直しのうえ継続」という評価結果になったが、これからどのような形で行っていくのか。議会は具体案を示していくのか。ずっと昔から同じようなことをやっていて何も進んでいない。事業評価を行っているのだから、具体的に進むようにしてはどうか。
- ・ 今日の議会報告会は参加者が少ないように感じるが、理由はあるのか。

グループ 2

(町民 3 名・議員 3 名 (関 威國議員・渡辺順子議員・柴崎 茂議員))

- ・ 観光振興対策事業の議会による事務事業評価がわかりにくい。また、評価は議員でなく第三者が行うべきではないか。
- ・ 大磯運動公園の管理が杜撰である。草花の手入れも悪いが、肥料等はあげているのか。月 1 回の指定管理者との連絡会議ではどのようなことを話しているのか。
- ・ 大磯運動公園の南駐車場にトイレを新設できないか。新設しても清掃などの管理が大変だと思うが。
- ・ 5 月の議会報告会でイノシシ対策をお願いしたが、本腰を入れた対策をお願いしたい。捕獲して頭数を減らしてほしい。また、捕獲したイノシシの肉をジビエとして有効活用できないか。
- ・ 昨年、不動川河床の浚渫工事が神橋から北川橋の間で行われた。次年度も引続き下流を整備すると聞いているが、どのような計画か。
- ・ 大雨時の不動川の洪水対策として、群生している葦やススキを刈り取り、焼却することはできないか。

- ・ 不動川の J R 沿線には数メートルにも伸びた雑草や雑木が生えている。冬季には火災の危険もある。刈り取ることはできないのか。
- ・ 議会報告会の議員からの報告で、いろいろと数値が出てくるが、パワーポイントに数値の記載がない。パワーポイントに数値を表示してほしい。

グループ 3

(町民 5 名・議員 3 名(二宮加寿子議員・片野哲生議員・高橋英俊議員))

- ・ 平成 30 年度に町立「国府幼稚園」を「たかとり幼稚園」に統廃合後し、「国府幼稚園」跡地に誘致する私立の認定こども園の計画について、住民への周知が足りないのではないか。
- ・ 子どもたちに対するインフルエンザ予防接種の補助はないのか。子どもたちにもインフルエンザの予防接種を考えるべきではないか。
- ・ 災害が起きた時、地区での行動マニュアルがない。
- ・ 社会福祉協議会、町福祉課、町危機管理課と地区の自主防災組織の連携ができていないように感じる。
- ・ 8 月 22 日、台風 9 号が発生した際、避難所に避難された方がいたが、町から避難者の名前を教えてもらえなかった。避難者の住所や氏名を教えてもらえないと地区で誰が被害にあっているのか確認がとれない。
- ・ 観光者に対するトイレや食事処が少ない。
- ・ 大磯運動公園の調整池に泥が流れ溜まっている。管理が悪すぎる。掃除の必要があるのではないか。
- ・ 六所神社のトイレ管理を老人クラブが行っているが、備品などの維持管理はどうなっているのか。トイレトペーパーなどがなくても連絡することもできない。連絡先の表示が必要ではないか。

グループ 4

(町民 4 名・議員 3 名(三澤龍夫議員・奥津勝子議員・鈴木京子議員))

- ・ 事務事業評価(議会だより第 184 号 P 4)を読むと、相反する内容が書かれており、どのように捉えたらよいか分からない。
- ・ 観光に関してはそれぞれ主張があり、難しいと思う。観光は大事、事務事業評価として取り上げるのはいいことだが、わかるようにしてほしい。
- ・ 財源も限られているので、優先順位をつけて考えてほしい。観光より防災が先と思う。議会はすべて賛成ではなく、チェックをしっかりとしてほしい。国府橋はなかなか進まないの、地権者に会って協力を求めてほしい。
- ・ 旧吉田茂邸が来春オープンと聞くが、どうなるのか。1 回は来るだろうが、大丈夫か。
- ・ 滄浪閣は何かかならないものか。

- ・ イノシシ被害が今年は特にひどく、生沢の山は運動場状態。鹿にも出会う。困っている。
- ・ NCR跡地はどうなっているのか。まだ看板はあるのか。土壌は大丈夫か。
- ・ 星槎はマリア道を自分たちで整備すると言ったので万台こゆるぎの森の事業者に選定された。町は交渉すべきと考えるが。

(4) 閉 会
